

質問

将来の図書館は

町長

総合的な視点で検討



たかはし えみこ 議員
高橋 恵美子

質問 身近な公共施設の図書館については、まちづくり拠点においても大変重要と考えている。町長の所見は。

町長 近年の図書館は、従来の本を借りる場所から、学び直しや調査研究の拠点子育て支援の場、若者の居場所づくり、地域情報の発信点、多世代交流の場とい

った複合的な役割を担う施設へと進化している。図書館は、まちづくりの中核的機能を持つ公共施設であると認識している。

本町においても、人口減少・少子高齢化が進む中で、人が自然に集まる地域内外の交流の場として、子どもの読書活動の推進、また郷土資料の保存と活用など、

重要な政策課題だ。交流拠点を備えた図書館整備は今後の公共施設の在り方をふまえて検討する。

質問 図書館の施設の老朽化・横田コミセンはバリアフリー

化されていない、誰でも気軽に行くことが困難だ。大切な図書館が将来どうあるべきかを示す必要があるのではないか。

町長 図書館機能を単独で考えるのでは

中学校給食無償化と給食センター

体もある。中学校の無償化の考えは。

進んでいる。このまま維持していくのか。

質問 子育て支援の視点から中学校も無償化にしていく自治

町長 中学校

についても国の制度が拡充されれば、速やかに中学校も無償化し、保護者負担の軽減を図りたい。

町長 これからまず児童生徒の減少が見込まれており、調理員の人材確保等施設運営の視点から、現在教育委員会では、2つの給食センターを仁多給食センター一つに統合できないか検討に入っている。



横田図書室



仁多給食センター

質問 子どもが減少していく中で仁多・横田の給食施設も老朽化が

その他の質問

子育て支援